学校番号	１０１０

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ（後半）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史Ｂ」　（実教出版）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店）　「新日本史Ｂ新訂版演習ノート」（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史には数々のドラマがあって面白いと思います。ただし、事実を考えて追っていくので、論理的な思考力が必要です。また、「なぜ？」を楽しむという謎解きを楽しむ好奇心も必要です。

学習方法としては、教科書中心の勉強を心がけてください。わからないところがあれば、まず教科書を読み、資料集で確認をして下さい。また見ているだけでは記憶に残りません。実際に紙に書いて覚えてください。

２　学習の到達目標

日本の歴史について、中国や朝鮮半島だけでなく欧米諸国との対外交流も含めどのように展開していったのか総合的に理解する。また、日本の政治・経済の発展過程だけでなく、日本の文化と伝統の特徴についての知識を身につける。現代の社会や国民生活の特色については、国際環境と関連付けて考察し、世界の中での日本の立場について理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノート・プリント	学習状況の観察 ノート・プリント 定期考査	学習状況の観察 ノート・プリント 定期考査	学習状況の観察 ノート・プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代への転換	1. 開国	○		○		a:幕藩体制の崩壊から中央集権国家体制の成立にいたる過程について、課題意識を高め、意欲的に追究している。 b: 幕藩体制の崩壊から中央集権国家体制の成立にいたる過程について、課題を見いだし、世界史的背景と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 幕藩体制の崩壊から中央集権国家体制の成立にいたる過程に関する文献、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d: 幕藩体制の崩壊から中央集権国家体制の成立にいたる過程について、基本的な事柄を世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ノート・プリント 定期考査
		2. 明治維新			○	○		
		3. 四民平等と富国強兵		○		○		
		4. 初期の外交と国内政治		○		○		
		5. 文明開化			○			
	近代国家の形成	1. 民権運動の展開	○		○		a:世界史的視野を意識しながら、立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b: 世界史的視野を意識しながら、立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、課題を見いだし、多面的・多角的に考察している。 c: 立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追及し考察した結果を適切に表現している。 d: 立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、基本的な事柄を世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ノート・プリント 定期考査
		2. 立憲政治への道		○		○		
		3. 初期議会と日清戦争		○	○			
		4. 政党の進出と日露戦争		○		○		
		5. 産業革命と社会の変化		○		○		
		6. 近代文化の形成と展開		○	○			

2学期	両大戦間の日本と市民文化	1. 第一次世界大戦	○		○		a:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b: 第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響から課題を見いだし、世界の動向と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d: 第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形勢についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ノート・プリント 定期考査
		2. 大戦後の内外環境		○		○		
		3. 政党政治の展開		○		○		
		4. 市民文化の展開		○	○			
	十五年戦争と日本	1. 満州事変	○			○	a:十五年戦争について、国際社会の動向、国内の政治・経済の動向などと関連付けながら、関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b: 十五年戦争について、国際社会の動向、国内の政治・経済の動向などと関連付けながら課題を見いだし、アジア諸国との関係や動向に着目して多面的・多角的に考察している。 c: 十五年戦争について、国際社会の動向、国内の政治・経済の動向などと関連付けながら、文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追及し考察した結果を適切に表現している。 d: 十五年戦争の基本的事柄を、国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ノート・プリント 定期考査
		2. 日中戦争		○		○		
		3. アジア・太平洋戦争		○	○			

3学期	現代の日本と新しい文化	1. 占領と民主改革	○			○	a:戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b: 戦後日本の歩みと世界情勢の推移について、相互の動きを関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 戦後日本の歩みと世界情勢の推移に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d: 戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	学習状況 ノート・プリント 定期考査
		2. サンフランシスコ講和会議と安保体制		○		○		
		3. 高度成長下の日本	○			○		
		4. 経済大国日本と国民生活			○	○		
		5. 世界史の転換と日本		○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。